

IBにおける評価



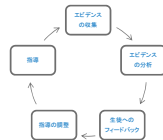
| | 0 | 1 | 2 |
|----------------|----------------|-------------|-------------|
| 正確さ(より本物に似ている) | 不明 | イラスト的 | 写真的 |
| 線の本数 | 多すぎ | やや多い | 少ない |
| 大きさ | 紙の半分未満しか使っていない | 紙の半分以上使っている | 紙の7割以上使っている |

形成的評価から総括的評価へ

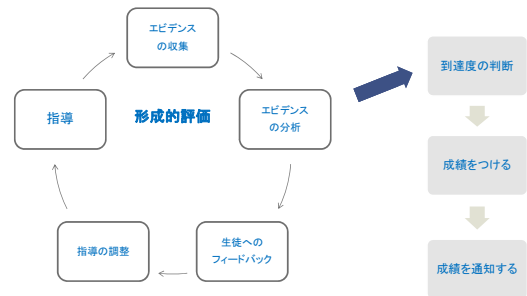
重要なことは、個々の総括的評価プロセスを開始する時に、

その課題について何が生徒に期待されているかを**明確**にして、

求められていることを生徒が完全に理解できるようにすることです。



形成的評価から総括的評価へ

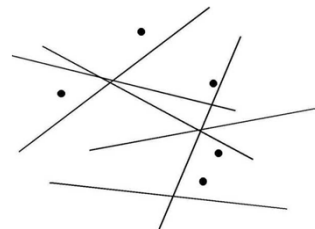


形成的評価から総括的評価へ

- 効果的な**形成的評価**は教師と生徒に対して、個人の学習スタイルを掘り下げただけではなく、学習の差別化の参考になる個々の生徒の長所や課題、選択を探る方法を示してくれます。
- 形成的評価**は生徒にとって、総括的評価課題を完成させるために準備する中で、理解の表現を示しそれに磨きをかける重要な機会でもあります。
- 生徒同士の評価と自己評価も**形成的評価**の有効な方法です。

総括的評価課題

以下の図形を見て、
 (音楽の場合) どのように演奏するか、**アイデア**を書き出し、作品を制作する。
 (美術の場合) 何を創造するか、**アイデア**を書き出し、作品を制作する。



音の視覚化

<課題内容>

図形から音を感じ、それをアニメーション化し、演奏する。

<指導計画>

1. 図からイメージするものを言語化する。
2. グループ毎に、意見を出し合い、イメージをまとめる。
3. グループで、色や線を加筆し、イメージを作り上げる。
4. イメージをアニメーション化する。
5. 演奏する。

☆インスピレーションで打楽器アンサンブル

関連コンセプト: リズム・テンポ

キーコンセプト: 関連性, 因果関係

<指導計画>

- ① 4人グループに分かれて“点と線の定義”を話し合う
- ② 使用する楽器を選んで、なぜその楽器を選んだかを考える
- ③ 楽譜にして、なぜこの音列にしたか、また、イメージとの関連性を発表
- ④ 演奏の練習
- ⑤ 発表 = 総括的評価
- ⑥ 振り返り = 相互評価